

令和6年度 第1回学校運営協議会 定時制部会 要旨

日時 令和6年6月14日（金）18時～ 於：書道教室

学校運営協議会委員 （順不同 敬称略）

平田 眞二 （大阪大谷大学 入試・広報課 参事）
味岡 知行 （味岡刃物製作所 代表 伝統工芸士）
奥野 浩史 （株式会社 奥野晴明堂 代表取締役社長 伝統工芸士）
丸井 理恵 （堺市立旭中学校 校長）
山本 達也 （福島区民センター 副館長 人権擁護士）
村山 美雅子 （保護者代表）

1 准校長挨拶 （松井准校長）

2 会長・副会長の選出と委員の自己紹介 （各委員）

3 令和6年度学校経営計画およびスクール・ポリシーについて （松井准校長）

本校は、めざす学校像として、「人格の陶冶」を実現すべく、「ものづくり」を核に据え、「働きながら学ぶ」ことを大切にして、教員と生徒が互いに信頼関係を築きながら教育活動を行っている。さらに地域連携も大切にしており、刃物作りや線香作りの授業を地域の方々の協力のもと行うなど、様々な取り組みを行っている。また、今年度は1人1台端末といったICT危機を活用した授業を、さらに積極的に行っていきたい。併せて、技能講習等を行うことで、卒業までの資格取得をめざした教育を行っている。これらを元にスクール・ポリシーの作成を行った。

4 本校の近況について （各分掌長より）

① 教務部 （古川教諭）

○令和6年度 新入生は32名（一般入試30名、二次募集2名）

2年生への転入生が8名、3年生への転入生が3名で計11名

○生徒の在籍状況

1年生33名（うち女子3名） 2年生46名（うち女子3名）

3年生25名（うち女子3名） 4年生2名（うち女子0名） 計106名（うち女子9名）

○今後の行事予定（6月～11月）の説明。

②生活指導部 （上坂教頭）

○学校全体を見渡すと、落ち着いた状態で登校し授業に取り組んでいる。

○課題を抱えている生徒も多いので、しっかりと生徒を見守っていききたい。

○給食は、無償化で始まった影響で、本年度も高い喫食率となっている。給食を通して生徒に食育の大切さも指導していききたい。

○生徒指導部による行事について報告

交通安全講習（7月中）、防災訓練（10月中）、SNS講習（12月中）、薬物乱用防止講習も実施予定

○自動二輪通学（原付含む）、自動車通学について説明。

③進路指導部（保田教諭）

- 7月1日に保護者向けの進路説明会を、就職と進学に分けて行う予定。
- 今年度も生徒全員の進路希望が実現するよう指導していく。

④生徒会活動部（上坂教頭）

- 生徒会活動に関する行事、部活動（17クラブが現在活動中）について説明。
- スポーツ大会（スポーツテスト）の実施報告。
- 生徒会役員生徒の紹介。

⑤支援教育委員会（古池首席）

- 生徒支援サポート体制について説明。（SC、SSW、居場所事業、教育相談生、学習支援員、多言語指導員、ヤングケアラー支援スタッフ等。）
- 4月の生徒情報交換会の実施報告。
- いじめアンケート（6月10日）の実施報告。
- 生徒人権HR（6月21日）について説明。
- 中学校との合同懇談会を、7月25日に開催予定。

⑥その他（保田教諭）

- 文部科学大臣賞の受賞報告。
- 被災地へ生徒ともにボランティア活動に行った報告。
- 毎日新聞への掲載報告。

（委員の方からのご意見）

- 学校経営計画及びスクール・ミッションを確認することで、本校が取り組んでいる内容がよくわかった。多岐の項目にわたって自己診断をきちんとされており、生徒・教師・保護者からも肯定的な評価を多く受けていると感じている。本年度も同じように取り組んでいただき、さらに高みをめざしていただければと思う。
- 本校に生徒を通わせていて、様々な体験や経験をさせていただいているので、そういった取り組みを継続しつつ、新たに生徒に還元できる取り組みも増やして欲しい。
- 地域連携の取り組みの報告を受けて、積極的に地域と関わっている様子が伺えた。さらに取り組みを進めるとともに、市や区という枠組みを超えてさらに多くの地域との連携も図っていただきたい。
- 本校の理念にもあるように、これからの時代は正に「自立した社会人」が求められる時代になっていると思う。これからも本校での教育や授業を通して、自立した生き方や考え方をしっかりと伝えて欲しい。
- 本校は先生方にご尽力をいただき、様々な取り組みがなされ、多くのところから注目されている。本年度もこれまでの成果や取り組みを踏まえ、さらに新たな取り組みに挑戦し、より多くのところや他校からも注目される学校になってもらえればと思う。

以上